

令和4年8月10日

芦屋市議会議長 松木 義昭 様

民生文教常任委員長 浅海 洋一郎

民生文教常任委員会 行政視察報告書

本委員会は、下記のとおり行政視察を実施しましたので、報告します。

記

- 1 日 程 令和4年8月3日（水）～8月4日（木）
- 2 視察先及び
視 察 項 目 子ども・子育て条例について（香川県高松市）
ごみ処理施設について（広島県東広島市）
- 3 参 加 者 民生文教常任委員会
委 員 長 浅海 洋一郎
副委員長 たかおか 知子（欠席）
委 員 福井 利道、寺前 尊文、松木 義昭、
田原 俊彦、ひろせ 久美子
随 行 市議会事務局 平井 和樹
- 4 視察報告書 別紙のとおり

以 上

令和4年度 民生文教常任委員会 行政視察報告書

視 察 日 時	令和4年8月3日（水）13時00分 ～ 14時30分
視 察 先	香川県高松市議会
視 察 内 容	子ども・子育て条例について
視 察 目 的 (視察先選定理由)	国でも令和5年よりこども家庭庁が設置されるなど、多様化する子どもを取り巻く環境に対応する動きや、各自治体でも子育て支援制度の推進を重要視する動きがあり、芦屋市でもより子ども・子育てに寄り添った制度拡充を進めるため。
調 査 概 要	<p>高松市で平成25年3月27日に公布・施行された「子ども・子育て条例」について説明を受けた。概要説明を受けた後、委員からの質疑応答とその内容に付随する制度や現状の様子などをご説明頂いた。</p> <p>① 施行の経緯と今に至るまで 当時の市長が平成24年の選挙でも子育て支援を強く訴えており、その経緯から子育て支援の根幹として施行されている。条例制定後、子ども医療費助成の拡大など子育て支援制度の拡大を行い、「子育てするなら高松市」のスローガンのもと平成29年度には「にっぽん子育て応援団」の子育て関連調査で全国から取り出した主要108自治体のうち2番目に評価が高い自治体として報告されている。</p> <p>② 現状の課題 条例施行当初、子育て支援拡充段階では人口流入も見られたものの、全国的な少子化の影響が大きく人口は減少傾向にある。また、ヤングケアラーの支援の必要性が注目されており、管轄を整理しながら虐待や貧困対策と同様に位置付けて取組みを強化することを検討している。</p> <p>③ 条例の広報について 条例は子ども自身の権利や、地域の見守りなど全市民に向けた内容となっている。パンフレットの配布を学校など各公共施設で実施しているが実際のサービスを拡充する中で地域の繋がりや子どもの意識を醸成することに注力している。</p>
所 感 (意見・感想・今後の課題等)	<p>当時の市長よりトップダウンで進められた理念条例だが、近年希薄さを感じる地域の繋がりや、子どもの権利保護など、この条例をベースに全ての子育て環境を包括して適合することができる理念条例であると感じる。</p> <p>しかし10年経って、部署改変や当時を知る市長・議員・職員も少なくなるとそのモチベーションを維持することが難しく、条例のフィードバックが必要である。</p>

令和4年度 民生文教常任委員会 行政視察報告書

視 察 日 時	令和4年8月4日（木） 9時45分 ～ 11時45分
視 察 先	広島県東広島市議会
視 察 内 容	ごみ処理施設について
視 察 目 的 (視察先選定理由)	芦屋市も老朽化によるごみ処理施設の更新が迫る中で、他機能との複合化 他市との広域化など最新の設備や考え方を進めている広島中央エコパークを施設 見学、より効率化および環境保護の考えを参考にするため。
調 査 概 要	<p>施設内を見学しながら説明を受けた後、質疑応答。</p> <p>① 施設設置の背景、目的 東広島市は市町合併や大学の市内移転、高い水準を維持する出生率に起因して 人口が増加し続けており大規模な処理施設が必要であった。 また効率的なごみ処理として300t/日程度のゴミ処理機能を持たせる、施設の 集約化の理由から平成11年から広域処理の協議を進め、既存施設の更新や連携に ついて検討していた。</p> <p>② 複合施設としてのメリット エコパークは焼却施設だけでなく、汚泥処理施設も併設されている。用地取得や 土地造成、設備の共通化、インフラ整備が一本化できること等、イニシャルコストと ランニングコストの両面で経済的である。</p> <p>③ 最終処分ゼロの考え方 焼却するゴミをガス化するガス化熔融炉、最終発生するスラグとメタルの再利用、 それでも排出される飛灰も有価金属へのリサイクル、また汚泥処理で発生する 脱水汚泥も焼却の際の助燃剤として使用するなど、熔融・資源化することでゴミを 排出しない先進的な循環型社会の取り組みを実現している。</p>
所 感 (意見・感想・ 今後の課題等)	<p>最新の設備によりすべてを資源化することから埋立処分のヤードを必要としない 考えで、後のヤード確保や造成を考えると経済的で環境にも良い。</p> <p>また、焼却により二酸化炭素が排出されるが、その後発電される電気量を考えると 計算上で排出される二酸化炭素量はゼロとしている。汚泥処理後の処理水も施設内 設備の洗浄水として使用するといった3Rの考えを踏襲した施設運営がされている。</p> <p>広域化のために施設完成まで20年間の協議があり、綿密に計画が立てられてい る。</p> <p>設備には19ヘクタールと大きな土地を必要としているため、本市で全てを担う ことは難しいが、教育施設としての考えや、ゴミ処理後発生するゴミをどのように して再利用するのかなど、今後の環境に配慮する考えを活かしていきたい。</p>

視察の様子（令和4年度 民生文教常任委員会）

視 察 先 ①

8 月 3 日
香 川 県 高 松 市



高松市役所を訪問しました。



高松市子育て支援課の職員の方にご説明いただきました。

視 察 先 ②

8 月 4 日
広 島 県 東 広 島 市
(広島中央エコパーク)



広島中央エコパークを訪問しました。



広島中央環境衛生組合施設1課の職員の方にご説明いただきました。

※この「視察の様子」のページは市議会事務局職員が作成しています。